

児童生徒数の推移と 今後の飯南町にふさわしい 教育環境を考えるための論点



本資料は**児童生徒数の推移と今後の見通し**を共有し、**今後の飯南町にふさわしい教育環境を考えるための論点**を整理するものです。

1



説明事項
①

児童生徒数の推移と
今後の見通し

- 児童生徒数の推移と今後の見通し
- 小学校別児童数の見通し
- 単式学級と複式学級の違い
- 中学校生徒数の見通し
- 5年後を見据えた課題

2



説明事項
②

今後の飯南町にふさわしい
教育環境を考えるうえでの
主な論点

- 学校規模のあり方
- 少人数教育のよさと課題
- 多様な人間関係や学び合いの確保
- 単式学級・複式学級それぞれの特徴
- 保小中高一貫教育の推進
- 通学環境、地域との関わり、学校施設

3



情報共有／その他
③

保育所のあり方

- 「保育所のあり方検討委員会」の答申

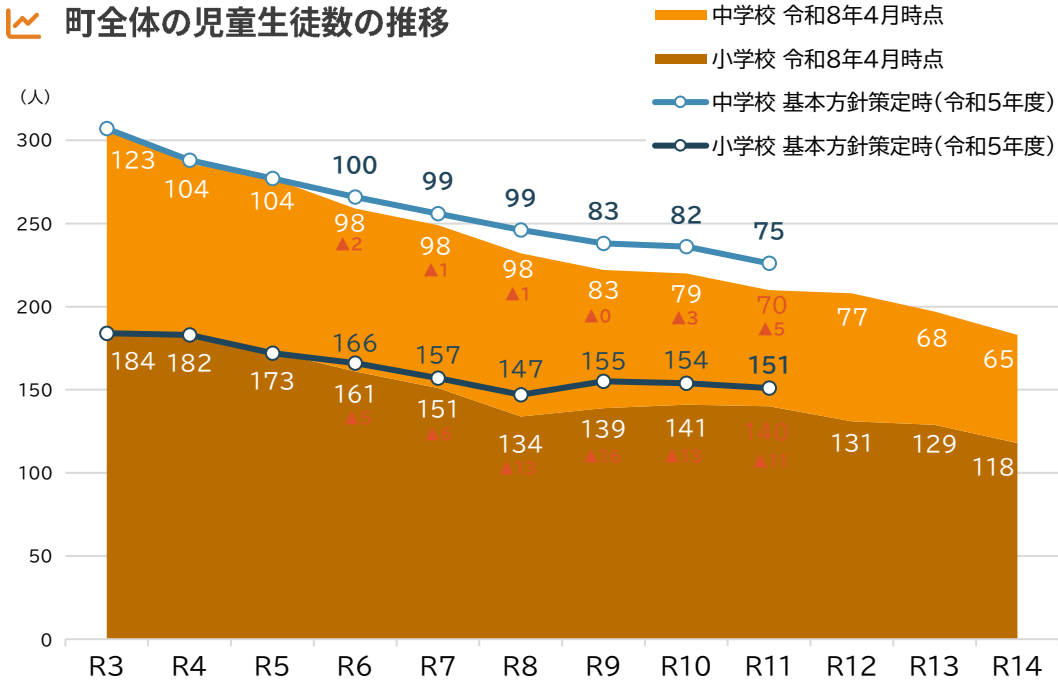


児童生徒数の推移と今後の見通し

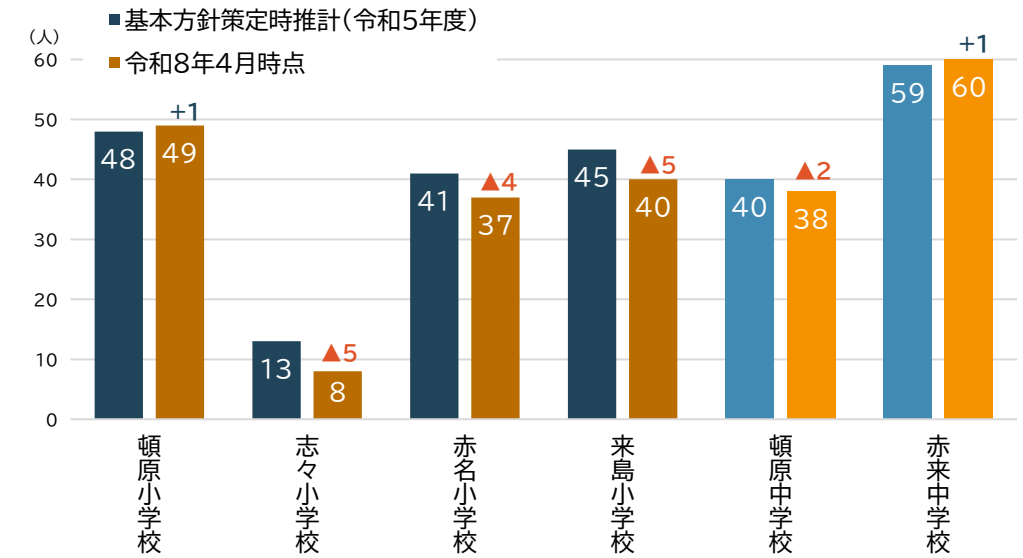
飯南町では、今後も児童生徒数の減少が見込まれます。

基本方針策定時（令和5年度）に想定していたよりも大きく減少しており、学校ごとの学級編成や教育活動に影響が出る可能性があります。

町全体の児童生徒数の推移



令和8年度の学校別の児童・生徒数比較



出生数や就学予定者数の変化

出生数の推移

近年の出生数は想定以上に減少傾向にあり、今後の就学予定者数にも影響が出る可能性があります。

就学予定者数

令和13年度以降、さらに少なくなる見通しです。

学校運営への影響

学級編成への影響

児童数の変化により、単式学級・複式学級の編成に影響が出る可能性があります。

教育活動の調整

少人数化に伴い、教育活動の在り方も変化する可能性があります。

小学校では、児童数の減少により、学年ごとの人数が少なくなることが見込まれます。

学校によっては、複式学級が継続する可能性や、単式学級と複式学級を繰り返す可能性があります。

検討ポイント

児童数の減少傾向と、学年ごとの変動を確認してください。

小学校別・年度別の児童数推計

● 複式学級見込み ● 単式・複式変動見込み

| 赤名 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1学年 | 2 | 8 | 11 | 8 | 5 | 5 | 9 | 7 | 9 | 7 | 4 | 3 |
| 2学年 | 12 | 2 | 8 | 11 | 9 | 5 | 5 | 9 | 7 | 9 | 7 | 4 |
| 3学年 | 8 | 12 | 2 | 8 | 9 | 8 | 5 | 5 | 9 | 7 | 9 | 7 |
| 4学年 | 13 | 8 | 11 | 2 | 8 | 8 | 8 | 5 | 5 | 9 | 7 | 9 |
| 5学年 | 9 | 13 | 8 | 11 | 2 | 6 | 8 | 8 | 5 | 5 | 9 | 7 |
| 6学年 | 12 | 9 | 14 | 7 | 10 | 2 | 6 | 8 | 8 | 5 | 5 | 9 |
| 特支 | 8 | 7 | 6 | 5 | 8 | 3 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| 計 | 64 | 59 | 60 | 52 | 51 | 37 | 44 | 44 | 44 | 43 | 42 | 39 |

| 頓原 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1学年 | 11 | 4 | 11 | 6 | 5 | 8 | 11 | 11 | 8 | 8 | 3 | 5 |
| 2学年 | 9 | 11 | 4 | 11 | 7 | 5 | 9 | 11 | 11 | 8 | 8 | 3 |
| 3学年 | 10 | 9 | 11 | 4 | 10 | 8 | 5 | 9 | 11 | 11 | 8 | 8 |
| 4学年 | 10 | 9 | 9 | 11 | 5 | 9 | 10 | 5 | 9 | 11 | 11 | 8 |
| 5学年 | 11 | 10 | 9 | 9 | 11 | 6 | 10 | 10 | 5 | 9 | 11 | 11 |
| 6学年 | 8 | 11 | 10 | 9 | 9 | 11 | 6 | 10 | 10 | 5 | 9 | 11 |
| 特支 | 2 | 2 | 3 | 3 | 2 | 2 | 3 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 61 | 56 | 57 | 53 | 49 | 49 | 54 | 59 | 55 | 52 | 50 | 46 |

⇒令和9年4月に志々小学校を統合

| 来島 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1学年 | 4 | 12 | 6 | 9 | 3 | 8 | 6 | 7 | 8 | 4 | 4 | 4 |
| 2学年 | 6 | 4 | 10 | 4 | 9 | 3 | 8 | 6 | 7 | 8 | 4 | 4 |
| 3学年 | 7 | 6 | 4 | 8 | 4 | 9 | 3 | 8 | 6 | 7 | 8 | 4 |
| 4学年 | 7 | 7 | 5 | 4 | 8 | 5 | 9 | 3 | 8 | 6 | 7 | 8 |
| 5学年 | 11 | 7 | 7 | 5 | 5 | 8 | 5 | 9 | 3 | 8 | 6 | 7 |
| 6学年 | 7 | 11 | 7 | 7 | 6 | 5 | 8 | 5 | 9 | 3 | 8 | 6 |
| 特支 | 4 | 5 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 46 | 52 | 42 | 40 | 37 | 40 | 41 | 38 | 41 | 36 | 37 | 33 |

| 志々 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1学年 | 4 | 2 | 0 | 5 | 0 | 1 | 令和9年4月に頓原小学校に統合 | | | | | |
| 2学年 | 2 | 4 | 2 | 0 | 4 | 0 | | | | | | |
| 3学年 | 1 | 2 | 3 | 2 | 1 | 2 | | | | | | |
| 4学年 | 4 | 1 | 3 | 3 | 1 | 1 | | | | | | |
| 5学年 | 0 | 4 | 1 | 4 | 3 | 0 | | | | | | |
| 6学年 | 0 | 0 | 4 | 1 | 4 | 3 | | | | | | |
| 特支 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | |
| 計 | 13 | 15 | 14 | 16 | 14 | 8 | | | | | | |

出典：飯南町教育委員会（R3～8学校基本調査、R9以降は保育所入所者数等から算出した推計値）

「島根県公立小・中学校等学級編制基準」では、1・2年生は8人以下の場合、3・4年生と5・6年生は、16人以下の場合には複式学級とするように学級編制基準が定められています。

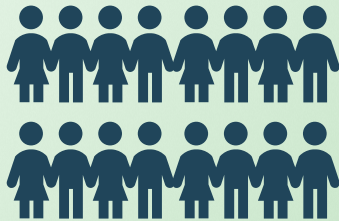


単式学級

1つの学年の児童だけで編成

定義：1つの学年の児童だけで編成される学級。
学年に応じた学習指導がしやすい。

1年生



- ✓ 同学年の友人関係をつくりやすい
- ✓ 学年に応じた学習指導がしやすい。



複式学級

2つ以上の学年の児童で編成

定義：2つ以上の学年の児童で編成される学級。
異なる学年が同じ教室で学ぶ。

1・2年生



- ✓ 異学年の関わりが生まれやすい
- ✓ 上級生が下級生を支える



大切なのは、子どもたちにとってより良い学びの環境をどう確保するかです。

単式学級・複式学級の特徴比較

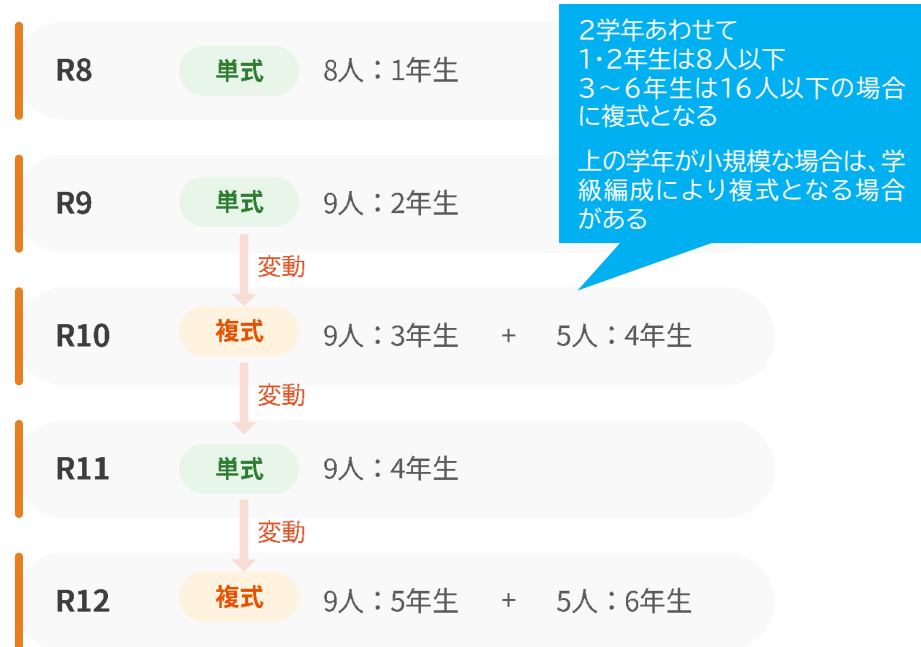
| 比較項目 | 単式学級 | 複式学級 |
|--------|---|--|
| 学級の構成 | 1つの学年の児童だけで編成される学級 同じ学年の児童が1つの教室に集まり、同じ学習内容を一齐に進めます。 | 2つ以上の学年の児童で編成される学級 異なる学年の児童が同じ教室で学び、学年ごとに異なる内容を学びます。 |
| 授業の進め方 | 同じ学習内容を一齐に進めやすい 学年ごとに統一した指導が可能 教材・教具の準備がしやすい | 学年ごとに異なる内容を同じ時間に学ぶ 教員の授業準備に工夫が必要 学習進度の調整に配慮が必要 |
| 人間関係 | 同学年の友人関係をつくりやすい 同世代のコミュニケーションが活発 人数が少ないと関係が固定化しやすい | 異学年の関わりが生まれやすい 上級生が下級生を支える関係が育ちやすい 多様な年齢層との交流が可能 |
| 学び合い | 話し合いやグループ活動を組み立てやすい 同じ学習レベルでの協働学習がしやすい 競争意識を持ちやすい | 異学年の児童が互いに学び合う機会がある 教え合い・助け合いの精神が育ちやすい 学びの幅が広がる |
| 教員の指導 | 学年ごとに統一した指導計画を立てやすい 児童の理解度を一括で把握しやすい 専門性を活かした指導が可能 | 異なる学年の児童を同時に指導する必要がある 授業準備や学習進度の調整に工夫が必要 多様な指導方法が求められる |
| 主なよさ | <ul style="list-style-type: none"> ◎ 同学年の児童が一齐に学べる ◎ 学年に応じた学習指導がしやすい ◎ 同世代の交流が活発 | <ul style="list-style-type: none"> ◎ 異学年の関わりが生まれやすい ◎ 上級生が下級生を支える ◎ 多様な人間関係が育ちやすい |
| 留意点 | | <ul style="list-style-type: none"> △ 教員の授業準備に工夫が必要 △ 学習進度の調整に配慮が必要 △ 同学年の人数が少ない |



単式学級・複式学級それぞれに良さと留意点があり、より良い学習環境をどう確保するかが重要です

飯南町で特に考える必要があるのは、複式学級そのものだけでなく、年度によって単式学級になったり複式学級になったりする可能性です。

年度別の学級形態変化（例）



考慮すべきポイント

- 1 学級編制の変動：学級編制が基準付近で推移すると、児童の転入出によって学級の編成が変わることがあります。
- 2 授業・運営への影響：授業や学校運営に影響が出る可能性があります。
- 3 学校現場の工夫：教員が複数学年の学習内容を同時に扱うなど、学校現場では工夫しながら教育活動を進めています。
- 4 規模の重要性：単式か複式だけでなく、1学年あたりの人数や学校全体の規模も重要です。

安定した学びの環境



子どもたちにとって、学年を通して安定した学習環境を確保することが大切です。年度による学級形態の変動は、教育活動や児童の心の安定に影響を与える可能性があります。

問い

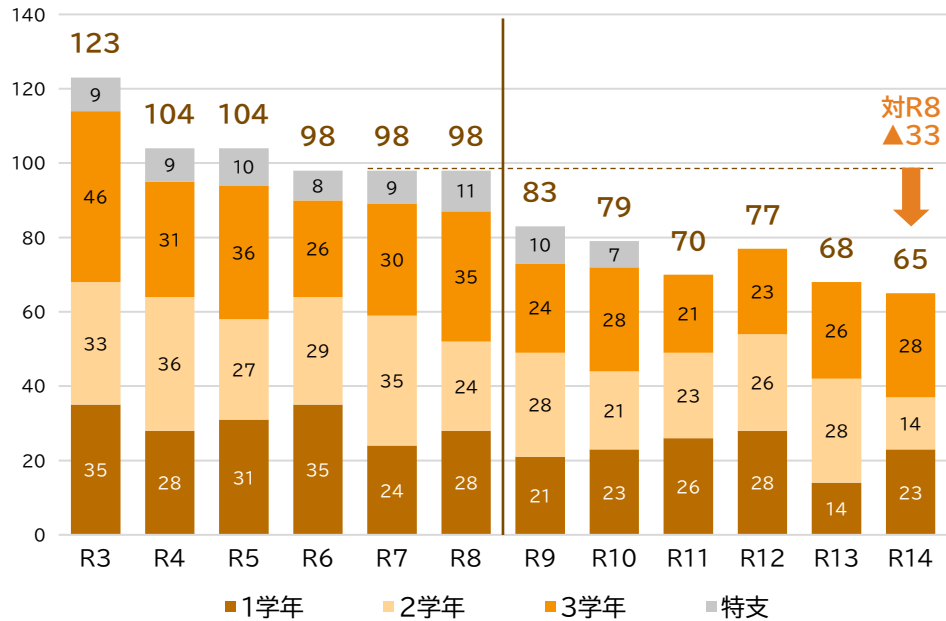


年度によって単式・複式が変わることを、どのように受け止めるか。



中学校には複式学級はありませんが、生徒数の減少により、教育活動に影響が出る可能性があります。

中学校生徒数の推移



学校別1学年あたりの人数

学年によっては10人以下となる場合がある

| 赤来 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1学年 | 18 | 20 | 19 | 21 | 15 | 16 | 7 | 17 | 14 | 17 | 8 | 14 |
| 2学年 | 23 | 19 | 19 | 17 | 21 | 15 | 16 | 7 | 17 | 14 | 17 | 8 |
| 3学年 | 20 | 21 | 19 | 18 | 18 | 21 | 15 | 16 | 7 | 17 | 14 | 17 |
| 特支 | 7 | 6 | 8 | 7 | 7 | 8 | 7 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 68 | 66 | 65 | 63 | 61 | 60 | 45 | 46 | 38 | 48 | 39 | 39 |

| 頓原 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1学年 | 17 | 8 | 12 | 14 | 9 | 12 | 14 | 6 | 12 | 11 | 6 | 9 |
| 2学年 | 10 | 17 | 8 | 12 | 14 | 9 | 12 | 14 | 6 | 12 | 11 | 6 |
| 3学年 | 26 | 10 | 17 | 8 | 12 | 14 | 9 | 12 | 14 | 6 | 12 | 11 |
| 特支 | 2 | 3 | 2 | 1 | 2 | 3 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 55 | 38 | 39 | 35 | 37 | 38 | 38 | 33 | 32 | 29 | 29 | 26 |

教職員の配置

生徒数の減少により、教職員の配置に影響が出る可能性があります。専門性の確保や授業の質が考慮される必要があります。

部活動

生徒数の減少は部活動の継続や活動の幅に影響を与える可能性があります。多様な活動の確保が課題となります。

学校行事・生徒会

学校行事や生徒会活動に影響がでる可能性があります。活動の活性化が求められます。

多様な人間関係

少人数化により、多様な人間関係や価値観に触れる機会の確保が重要となります。

将来の児童生徒数を見据えて、長期的に安定した教育環境を考える視点が必要です。

中長期的な課題と視点

早い段階から、5年後、その先を見据えた検討が必要です

現在
令和8年度頃

児童生徒数の現状
現在の学校配置と学級編制を確認

複式学級の状況
単式・複式の学級編制を把握

減少傾向
児童生徒数の推移を分析

5年後
令和13年度頃

児童生徒数
さらに少なくなる可能性

複式の継続・単複繰り返し
学級編制の変化に対応

学校の再編
児童・生徒数減少への対応

その先
令和15年度以降

保・小・中・高の接続・連携
つながりを考える

長期的に安定した教育環境
持続可能性を確保

将来の子どもの学びを支える
長期的視点で検討

？ 問い

将来の児童生徒数を見据え、今からどのような視点で検討を進めるべきか。



今後の飯南町にふさわしい 教育環境を考える主な論点

ここからは、望ましい教育環境を考えるうえでの主な論点を整理します。



① 学校規模のあり方

子どもたちにとって望ましい学校規模とは何か。少人数できめ細かく見られる環境と、一定人数の中で多様な考えに触れる環境のバランスを考える。

学級編成

規模感



② 少人数教育のよさと課題

一人ひとりに目が届きやすい、特性に応じた支援がしやすい。一方で、人間関係が固定化しやすい、多様な意見に触れる機会が限られる。

個別指導

人間関係



③ 多様な人間関係や学び合いの確保

多様な友人関係、互いに刺激し合う学び、話し合い活動、協働学習を経験できる環境の確保が重要。

交流

協働学習



④ 単式学級・複式学級 それぞれの特徴

単式は同学年で活動を組み立てやすい。複式は異学年の関わりや支え合いが生まれやすい。それぞれに特徴がある。

単式

複式



⑤ 保育所・小学校・中学校・ 高校の接続・連携

保小中高一貫教育で飯南町ならではの魅力ある教育をより一層強化できる教育環境を作る。

接続

連続性



⑥ 通学環境、地域との関わり、 学校施設

通学時間、スクールバス、冬季の通学、放課後の過ごし方、家庭への負担、地域とのつながりを考える。

通学

地域



特定の方向に誘導するものではなく、考える視点を整理したものです。
各論点について、委員の皆さんの意見をお聞かせください。

子どもたちにとって望ましい学校規模とは何か。少人数教育のよさを生かしつつ、どのような課題に対応する必要があるかを整理します。

学校規模の視点

- 1 子どもにとって望ましい学校規模**
一人ひとりに目が届き、かつ多様な意見に触れる環境のバランス
- 2 少人数できめ細かく指導できる環境**
個別の特性に応じた支援や指導のしやすさ
- 3 一定人数で多様な考えに触れる環境**
異なる意見や価値観に触れる機会の確保
- 4 グループ活動・学校行事への影響**
学校行事や部活動などへの参加・活動の幅

? **問い** 少人数のよさを生かしつつ、
どのような課題に対応する必要があるか。

少人数教育のよさ

- ✓ 一人ひとりに目が届きやすい
- ✓ 子どもの特性に応じた支援がしやすい
- ✓ 学校と家庭、地域の距離が近い
- ✓ 異学年交流が生まれやすい

少人数教育の課題

- ✓ 人間関係が固定化しやすい
- ✓ 多様な意見に触れる機会が限られる
- ✓ グループ学習や学校行事に制約が出る場合がある

子どもたちがどのような関わりや学びを経験できるかという視点で整理する

多様な学び合いの視点

多様な友人関係
異なる年齢・背景の子どもとの交流

話し合い活動
意見交換や討論の機会

学校行事
行事を通じた交流

部活動
中学校での多様な活動

互いに刺激し合う学び
お互いの考えを高め合う環境

協働学習
グループでの学習活動

生徒会・委員会活動
生徒会・委員会活動への参加

進学後や社会への適応
将来の環境変化への準備

単式・複式学級との関係

● **単式学級：**
同学年の中で話し合いや活動を組み立てやすい

● **複式学級：**
異学年の関わりや支え合いが生まれやすい

● **人数の少なさ：**
多様な意見に触れる機会が限られる場合がある

● **重要なのは：**
経験できる関わりや学びである

? **問い** 子どもたちが多様な人間関係や学び合いを経験するために、どのような環境が必要か。

就学前から義務教育段階まで、子どもの育ちを連続的に捉える視点を整理します。

🏠 保育所 → 小学校 → 中学校 → 高校の流れ



💡 考える視点

- 小中一貫型学校という考え方もある
- ただし現時点で特定の制度や形態を前提としない
- 保育所のあり方検討も踏まえて考える
- 高校での学びと進路選択への接続を見据えて考える

❓ 問い 高校まで、子どもの育ちをどのようにつなげ、今後の飯南町にふさわしい教育環境をつくるべきか。

教育環境は学校規模だけでなく、通学、地域、施設の条件もあわせて考える必要があります。

通学環境

- 通学時間**
子どもの年齢に応じた適切な通学時間の確保
- スクールバス**
バス路線の維持と運行の安定性
- 冬季の通学**
雪道や寒さへの対策、安全確保
- 放課後の過ごし方**
放課後の安全な過ごし方の確保
- 家庭への負担**
保護者の送迎負担や費用

地域との関わり

- コミュニティスクール**
地域も共に子どもを育てる
- 地域行事**
地域行事との連携や参加
- 地域学習・ふるさと教育**
地域の歴史や文化の学習
- 学校がなくなった場合のつながり地域との継続的な関係**
- 地域の安心感**
学校があることによる地域の安心感

学校施設

- 老朽化**
校舎や設備の老朽化状況
- 安全性**
建物の耐震性や安全対策
- 学習環境としての機能**
教室や特別教室の設備
- 今後の施設活用**
再編後の施設の有効活用
- 環境配慮**
省エネや環境への配慮

問い 教育環境の充実と、通学・地域・施設面の条件をどのように考えるべきか。

本日の意見交換で伺いたいこと

本日は、具体案を決めるのではなく、今後の検討に向けた視点を共有します

1 望ましい学校規模・学級規模

飯南町の子どもたちにとって、どのような学校規模・学校規模が望ましいか

学校規模 学級編成

2 少人数教育のよさと課題

少人数教育のよさを生かしつつ、どのような課題に対応する必要があるか

個別指導 人間関係

3 単式・複式の特徴や変動の受け止め

単式学級・複式学級の特徴や、単式・複式の変動をどのように受け止めるか

単式学級 複式学級

4 多様な人間関係や学び合いに必要な環境

子どもたちが多様な人間関係や学び合いを経験するために必要な環境

交流 協働学習

5 保育所・小学校・中学校・高校の 接続・連携

保育所から小学校、中学校、高校まで、子どもの育ちをどのようにつなげるべきか

接続 連続性

6 教育環境・通学・地域・施設の検討

教育環境の充実と、通学・地域・施設面の条件をどのように考えるか

通学 地域 施設



委員の皆さんの率直なご意見をお願いします

今後の検討に向けた視点を共有するために、委員の皆さんのご意見をお聞かせください。



第2回 飯南町小中学校再編検討委員会

【お問合せ先】

〒690-3513 島根県飯石郡飯南町下赤名880番地

飯南町教育委員会 学校教育担当

電話：0854-76-3944

E-mail：i-kyoiku@iinan.jp

